

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	緑の保全・創出
小項目	みどり
施策の方針	都市の美しさを象徴する緑の保全・創出に向けて、公園・緑地等の整備や協働による維持管理を行います。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

●市では緑地率29%を維持することを目指していますが、生産緑地の解除や空閑地の減少等により緑地は失われつつあります。そのため、「身近な緑」「地区の拠点となる緑」の整備を進めて、緑地率の維持に努める必要があります。

●緑地が失われつつある中で、新たな緑地の創出が必要です。そのため、事業者に対し開発により失われた緑を補う新たな緑の創出を働きかけていく必要があります。

●身近な緑を守り育てていくためには、緑の大切さや必要性に対する意識の啓発とともに、地域の協力を得ることが必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	1,299,099	1,019,927			
人件費(予算)	84,108	74,696			
合計	1,383,207	1,094,623	0	0	0
対前年比	—	79%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	H32	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	各年度目標値					
		単位	—	H28	H29	H30	H31	H32		
1	C	「ふれあいの森」の面積		7.2	7.1	—	—	—	—	現在、ふれあいの森は9箇所が認定されており、奨励金の交付、整備及び維持管理を行っている。平成28年は指定解除により減少しているが、今後、計画的に用地を確保しつつ保全を図っていく。
		みどり公園課	市内の「ふれあいの森」の面積(累計)	↗	—	7.2	7.2	—	—	
2	A	都市公園の面積		89.5	89.7	—	—	—	—	土地区画整理事業などによって生み出された用地の公園整備を図っており、平成28年は長久公園の整備を行った。今後も計画的な公園整備を進め、市内都市公園の充実を図っていく。
		みどり公園課	市内の都市公園の面積(累計)	↗	—	89.7	89.9	—	—	
3	A	開発指導により創出された緑地の面積		2.1	2.8	—	—	—	—	新たな緑を創出するため、市の基準に基づき、開発行為に対して緑地の設置を指導するとともに、公共事業や開発等で創出された緑の維持管理を行う。今後も新たな緑地を増やしていくために、開発案件の的確な緑化指導を図っていく。
		みどり公園課	開発指導により新たに創出された緑地の面積(累計)	↗	—	2.1	2.8	—	—	
4	B	公園管理協定の公園数		62	62	—	—	—	—	平成28年度では新規に締結をしたものの、解除もあった。今後も、市民参加による公園の管理を進めるため事務区への相談、協議を実施し、地元の団体等と管理協定の締結を推進していく。
		みどり公園課	公園管理協定を締結している都市公園の数(累計)	↗	—	63	63	—	—	
5						—	—	—	—	
						—	—	—	—	
6						—	—	—	—	
						—	—	—	—	
7						—	—	—	—	
						—	—	—	—	
8						—	—	—	—	
						—	—	—	—	
9						—	—	—	—	
						—	—	—	—	
10						—	—	—	—	
						—	—	—	—	
11						—	—	—	—	
						—	—	—	—	
12						—	—	—	—	
						—	—	—	—	

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	50%	2/4
未達成	B 前年度より改善しているもの	25%	1/4
未達成	C 前年度より改善していないもの	25%	1/4

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	地域文化の継承と創造
小項目	文化・芸術
施策の方針	文化・芸術活動を行う市民が自主的かつ積極的に取り組み、成果を発表するとともに、それぞれの市民が望む文化・芸術を享受できるよう、親しむ機会及び成果発表の機会の提供、活動に対する支援を行います。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

- 市民が広く文化・芸術に親しむには、行政と民間が連携して文化・芸術の機会を提供する必要があります。
- 多くの市民・団体が文化・芸術活動に取り組んでいますが、日頃の活動の成果を発表できる機会を継続的に確保する必要があります。
- 地元芸術家に活動の機会を提供することにより、その育成につなげるとともに、市民が気軽に文化・芸術に触れる機会をつくる必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	23,289	21,838			
人件費(予算)	33,390	20,570			
合計	56,679	42,408	0	0	0
対前年比	—	75%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31		H32
					各年度目標値						
1	C	文化・芸術に親しむ市民の割合		78.6	75.7	—	—	—	—	多くの市民が広く文化・芸術に親しむことができるよう、行政と民間(公財)上尾市地域振興公社と連携して、文化・芸術の機会を提供するなどしている。平成28年度は美術展、音楽祭、コンサートの開催など、市民に芸術鑑賞の機会を提供した。同時に、市展や音楽祭では、芸術に親しむ市民の成果を発表にもつながった。また、本市の文化芸術事業については充分ではないという市民も多く、平成28年度も同様の結果であった。今後も引き続き、様々な形での芸術支援について検討を要する。	
		生涯学習課	市美術展覧会、市民音楽祭等の参加者アンケートで、上記の内容を回答した人の割合(単年度)	↗	—	80.0	80.0	—	—	—	
2	C	上尾市美術展覧会への出品点数		462	461	—	—	—	—	公募により美術展を開催し、美術の創作活動を行う市民に発表の場を提供するとともに、創作活動の奨励及び芸術活動への意識を高められるよう、優秀作品には表彰を行っている。美術館のない当市においても、美術館のある他市と同等の美術展が開催できていることは貴重である。また、市民ギャラリーでは市内団体・個人による美術展も数多く開催されており、市民の芸術活動が活発であることから、今後も継続して開催する。	
		生涯学習課	市美術展覧会に出展された作品の数(単年度)	→	—	462	462	—	—	—	
3	A	小学校への出張コンサートの開催数		5	5	—	—	—	—	上尾市がゆかりである音楽家の活動を支援するため、芸術鑑賞の機会を提供する事業としてコミュニティセンターで本公演を行うほか、小規模にしたコンサートとしてもアウトリーチで5回開催した。会場校となった小学校では、小学生が本格的なクラシックコンサートを鑑賞することで、情操を豊かにする学びが得られたと評価をいただいている。	
		生涯学習課	地元芸術家による小学校での出張コンサートの開催数(単年度)	↗	—	5	5	—	—	—	
				回							
4					—	—	—	—	—		
5					—	—	—	—	—		
6					—	—	—	—	—		
7					—	—	—	—	—		
8					—	—	—	—	—		
9					—	—	—	—	—		
10					—	—	—	—	—		
11					—	—	—	—	—		
12					—	—	—	—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	33%	1/3
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	67%	2/3

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	地域文化の継承と創造
小項目	文化財
施策の方針	市の歴史、文化等の理解に不可欠な文化財や歴史資料の適切な保存・継承を進めます。また、市民が文化財や歴史資料に親しみ、その価値への理解を深められるよう、普及啓発や情報提供を行います。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

- 現存する文化財を後世に継承していくには、指定文化財や登録文化財として保存・管理していく必要があります。
- 無形民俗文化財の中には、保持団体の会員数の減少や保持者の高齢化により継承が難しくなっているものもあり、継承に向けた支援が必要となっています。
- 収集した歴史資料を保存していくには、未整理資料の速やかな目録作成が必要です。
- 市の文化財や歴史資料等を保護していくには、普及啓発や情報提供により、その価値を多くの人へ周知していく必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	14,381	8,676			
人件費(予算)	46,447	45,852			
合計	60,828	54,528	0	0	0
対前年比	—	90%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31		H32
					各年度目標値						
1	A	指定・登録文化財件数		122	122	—	—	—	—	市文化財保護条例に基づき、市内に所在する文化財のうち、重要なものを市指定文化財等として指定し、その保存及び活用を図っている。平成28年度は、新たに「伝どんどん山出土海獣葡萄鏡」を登録したものの、「陣屋囃子連」の解散により件数の変更はなかった。	
		生涯学習課	市指定文化財・市登録文化財の件数(累計)	↗	—	122	122	—	—	件	
2	A	活動している無形民俗文化財の保持団体数		38	37	—	—	—	—	市文化財保護条例に基づき、重要な無形民俗文化財について市民の文化的向上に貢献するため、保存及び活用に必要な措置を講じている。平成28年度は、「陣屋囃子連」の解散により、保持団体数が減少した。	
		生涯学習課	無形民俗文化財の保持団体の数(累計)	→	—	37	37	—	—	団体	
3	A	整理された歴史資料の目録点数		15	16	—	—	—	—	市で収集した歴史資料を後世に継承し、その活用を図るため、整理や目録の刊行を実施している。平成28年度は旧大谷農業協同組合文書目録の第1巻の刊行を行い、平成31年度までの期間に第4巻まで刊行していく。また目録の作成については、引き続き整理済歴史資料の点数を増やしていく。	
		生涯学習課	刊行された歴史資料目録の点数(累計)	↗	—	16	17	—	—	点	
4	C	あげお歴史セミナー等の参加者数		3,795	3,282	—	—	—	—	平成28年度は、例年の文化財展に加え「国登録有形文化財「上尾の摘田・畑作用具」展～暮らし支えた用具たち～」を実施するため、平成27年度の実績を踏まえての目標値を設定したが、共催で行った催事内容の変更により、実績としては平成27年度を下回る結果となった。平成29年度については、当該年度単独の文化財展の企画がないため、共催の催事内容を踏まえた上で、前年度を下回る目標値を設定している。	
		生涯学習課	あげお歴史セミナー等の啓発事業への参加者数(単年度)	↗	—	3,800	3,300	—	—	人	
5						—	—	—	—		
6						—	—	—	—		
7						—	—	—	—		
8						—	—	—	—		
9						—	—	—	—		
10						—	—	—	—		
11						—	—	—	—		
12						—	—	—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	75%	3/4
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	25%	1/4

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	生涯学習・スポーツの振興
小項目	生涯学習
施策の方針	市民が生涯にわたり、あらゆる機会・場所で学習することができ、その成果を適切に生かせるよう、生涯学習情報の提供、生涯学習活動の機会の提供、生涯学習推進の体制づくり、生涯学習活動の成果の活用を推進していきます。 また、誰もが身近に利用できるよう、知の拠点である図書館の資料・サービスの充実を図ります。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

- 学習意欲を持つ市民に、生涯にわたる学習の必要性や重要性を認識し、興味・関心を高めてもらうには、生涯学習に関する情報の収集と積極的な提供が重要です。
- 生涯学習活動を始める主なきっかけとなる公民館講座は、対象者に応じて分類・体系化することで、多様な学習機会の提供を図ることが必要です。
- 高度化・専門化した学習機会の提供には、教育機関・民間企業等との連携・協働が必要です。
- 生涯学習を通じて市民の地域課題への関心を高めることが必要です。
- 生涯学習の一層の振興には、生涯学習活動を担う社会教育関係団体を支援するとともに、生涯学習に関する施策の検討や推進する体制の整備を行うことも必要です。
- 生涯学習の成果を生かす「まなびすと指導者バンク」の利用件数が少ないため、指導内容の充実を図るなど支援を工夫することが必要です。
- 誰もが図書館を身近に利用できるような施設や運営体制の整備が必要です。
- 資料・サービス等、市民の多様化した図書館ニーズへの対応が必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	750,803	575,332			
人件費(予算)	172,815	214,065			
合計	923,618	789,397	0	0	0
対前年比	—	85%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31		H32
					各年度目標値						
1	C	公民館で生涯学習活動を行った人の数		9,352	8,540	—	—	—	—	市内6公民館において全128事業の講座を実施したことは、市民に多種多様な学習の機会を提供し、学習意欲の醸成に寄与することができた。今後も、計画に沿って内容の充実を図っていく。 ※平成28年度の目標値は、上尾公民館休館により減少としている。	
		生涯学習課	生涯学習活動を行った人の数(公民館まつりを除く・単年度)	人	—	8,600	8,800	—	—	—	
2	A	教育機関・民間企業等と連携・協働して実施した講座数		10	12	—	—	—	—	市内6公民館で企業や大学と連携して9事業を実施した。大学・他市町と連携した「子ども大学あげお・いな・おけがわ」の他にも、民間企業と連携した高齢者向けインターネット教室を実施するなど、新しい学習機会を提供することができた。今後も同様の事業を継続していく。	
		生涯学習課	教育機関等と連携して実施した生涯学習講座の数(単年度)	講座	—	11	13	—	—	—	
3	C	家庭教育推進事業の参加者数		396	273	—	—	—	—	幼稚園や小中学校の保護者を対象とした家庭教育講演会を実施し、家庭の教育力や子どもの徳育の大切さを考える場とし、保護者へ学習の機会を提供することができた。今後も、保護者に対し学習の機会を提供していく。 ※平成28年度は文化センター休館のため、コミュニティーセンターで募集人数を下げての実施としている。	
		生涯学習課	家庭教育講演会に参加した人の数(単年度)	人	—	300	400	—	—	—	
4	A	学校施設(特別教室)開放事業の利用件数		903	1,238	—	—	—	—	学校施設(特別教室)開放事業の利用は、富士見小学校を中心に年々増加している。平成28年度は上尾公民館が8月から工事中であったため、富士見小学校や芝川小学校は特に増加している。また、平方東小学校の利用者数も徐々に増加しており、今後も市民のニーズに応じられるよう体制を整えていく。	
		生涯学習課	学校施設開放事業による特別教室利用件数(単年度)	件	—	1,200	1,250	—	—	—	
5	A	まなびすと指導者バンク登録者数		143	155	—	—	—	—	地道な努力によりまなびすと指導者バンク登録者は、徐々に増加してきた。しかしながら、登録者の高齢化により更新を辞退する人も出てきている。今後は若い人の登録を促進するとともに、登録した人の活用についても広報に努めていく。	
		生涯学習課	まなびすと指導者バンクに登録している人の数(累計)	人	—	150	160	—	—	—	
6	C	図書館の利用者数		427,669	405,641	—	—	—	—	蔵書数を増やせたほか、オンラインデータベース導入による情報提供の充実を図ったものの、開館日数の減少や他市町の図書館(広域)を利用する市民が増加したことにより、利用者が減少した。今後、図書館利用が困難な人へのサービスの充実や、分館活性化の特色を出し、図書館利用者の増加に繋がるよう努めていく。 ※平成28年度の目標値は、開館日数の減により減少としている。	
		図書館	図書館の年間利用者数(単年度)	人	—	420,000	420,000	—	—	—	
7	C	図書館資料の予約・リクエスト件数		214,775	208,193	—	—	—	—	図書館資料の予約・リクエスト件数が減少したことについて利用者アンケートから分析すると、新刊図書資料の予約件数が多いため、借りられない状況が原因となっている。今後は図書資料の収集方針等の見直しを行っていく必要がある。 ※平成28年度の目標値は、開館日数の減により減少としている。	
		図書館	図書館が所蔵する資料の予約等の件数(単年度)	件	—	210,000	210,000	—	—	—	
8					—	—	—	—	—		
9					—	—	—	—	—		
10					—	—	—	—	—		
11					—	—	—	—	—		
12					—	—	—	—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	43%	3/7
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	57%	4/7

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	生涯学習・スポーツの振興
小項目	スポーツ・レクリエーション
施策の方針	上尾市スポーツ都市宣言を踏まえ、市民がスポーツを通じて自身の健康・体力向上やそれぞれの夢の実現を目指す、健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進を図ります。また、見る人への感動だけでなく、学ぶ感動、支える感動を与える市民スポーツを推進します。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

●市民が広くスポーツに親しむためには、身近にスポーツ・レクリエーション活動ができるスポーツ施設の整備・改修等が必要です。

●余暇の増大等による生活スタイルの変化や、健康・体力作りへの関心、多様なスポーツイベントへの参加ニーズに対応してスポーツ・レクリエーション事業の充実が必要です。

●運動をする子どもとしない子どもの二極化の進行や、少子化に伴う運動部活動数の減少等により、児童生徒の運動の習慣化が重要な課題となっています。そのため、学校教育だけでなく社会体育の面からも、子どもたちにスポーツに親しむ機会を提供することが必要です。

●スポーツ・レクリエーション活動が安全で楽しく行われるためには、スポーツ指導者が不可欠であり、その育成と資質向上が重要です。

●地域に根差した生涯スポーツの推進のためには、スポーツ団体との連携・協力が不可欠であり、その育成・支援を行っていく必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	113,989	164,265			
人件費(予算)	57,806	66,065			
合計	171,795	230,330	0	0	0
対前年比	—	134%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名			各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
		課名	指標の説明(計算式)	方向性 単位	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
					各年度目標値						
1	A	施設の利用者数			1,004,790	1,047,231	—	—	—	—	市民体育館、屋外スポーツ施設(平方スポーツ広場・平塚サッカー場・平方野球場)、学校施設(校庭・体育館)開放の利用の適正化を図り、利用しやすい施設となるよう整備を行っているため、利用人数は増加している。引き続き、市民が利用したい施設となるよう整備を行っていく。
		スポーツ振興課	体育館等スポーツ施設を利用した人の数(単年度)	人	—	1,025,000	1,050,000	—	—	—	
2	A	スポーツ・レクリエーション事業の参加者数			16,906	19,505	—	—	—	—	市民体育祭、上尾シティマラソン、上尾市民駅伝、いきいきライフ大運動会など、市民のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供している。引き続き、市民のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供していく。 ※平成29年度は小学生のイベント増加に伴い、小学生ドッジボール大会の6年生の部を廃止すること及びなわとび大会を廃止することなどによる参加人数の減少を見込んだ上で目標値を設定している。
		スポーツ振興課	市民体育祭等スポーツ事業に参加した人の数(単年度)	人	—	18,000	17,000	—	—	—	
3	A	スポーツイベントに参加する児童生徒の数			7,291	6,532	—	—	—	—	上尾シティマラソン、上尾市民駅伝、小学生ドッジボール大会など、児童生徒のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供している。平成28年度は上尾市民駅伝の参加者数が多くなり、安全面の確保など検討を行った結果、参加者数の制限を行うこととしたため参加児童数が減少した。引き続き、児童・生徒のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供していく。 ※平成29年度は小学生のイベント増加に伴い、小学生ドッジボール大会の6年生の部を廃止すること及びなわとび大会を廃止することなどによる参加人数の減少を見込んだ上で目標値を設定している。
		スポーツ振興課	市民駅伝等スポーツ事業に参加した児童生徒の数(単年度)	人	—	6,300	4,220	—	—	—	
4	C	スポーツ・レクリエーションに関するスキルアップ講座等の受講者数			74	73	—	—	—	—	スポーツ・ステップアップ講座、スポーツ推進研修、AED講習を開催し、指導者の育成を行っている。毎年、継続的に実施していくことで、スポーツ人口及び指導者の裾野を広げていく。
		スポーツ振興課	スポーツ推進員研修等の講座に参加した人の数(単年度)	人	—	80	80	—	—	—	
5							—	—	—	—	
6							—	—	—	—	
7							—	—	—	—	
8							—	—	—	—	
9							—	—	—	—	
10							—	—	—	—	
11							—	—	—	—	
12							—	—	—	—	

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	75%	3/4
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	25%	1/4